



21世紀の時代を生きる子どもたちは、学力だけでなく創造力や主体性、社会性、豊かな心などの「生きて働く力」の体得が必要となります。「1つ1つした子どもたちを育てるため」の「みのかも教育-21『FROM 0歳プラン』」がスタートしました。

一人ひとりの子どもが  
自分にきびしく、人に優しく、たくましくなるように

子どもたちを取り巻く環境は、生活様式や価値観の多様化などにより、必ずしも良好とはいえない時代となっています。  
こうした社会的要因から子どもたちの将来を考えたとき、市は各家庭の力だけでなく、「地域の子どもは、地域全体で育てるべきではないか」と考え、そのために何が必要なのかをまとめました。  
それが、「みのかも教育-21『FROM 0歳プラン』」(以下プラン)です。

このプランの特徴は、①0歳から幼(保)園、小中高校の連携や積み上げを大事にしたロングスパン教育。②学習の場や時、他者との関わりを機会を広げた、地域社会(面)による教育の充実。③生きて働く真の学力をつけるための授業改革を重点としていることです。  
このプランは、子どもたちがこの世に生を受けてから青年期までの長い時間的スパンと地域の施設・設備から住民や自然まで含めた総合的な面の広がりの中で教育につ

いて考えました。  
子どもたちの生きる力の体得を考えたとき、学校・家庭・地域がそれぞれ具体的に、実践しようとするものです。  
市は、子どもの成長は大人の成長とともにあると考え、家庭・幼(保)園・学校・地域との連携を深めながらこのプランの実現を図ります。  
今、一人ひとりの子どもたちの将来を考えていきたいと思えます。

# みのかも教育-21 「FROM 0歳プラン」



「パソコンの中って、こーなんだあ」  
土曜伊深っ子クラブ(伊深町)では、地域の人によるパソコン講座が開催されています。このクラブでは、受講児童が初めて絵本のCDをつくりました。  
写真提供 伊深小学校